

堀田カーペットではお取引先の皆様へカーペットの製品情報、ウールの基礎知識、織物のカーペットのすばらしさをお伝えするメールニュース『woolflooring』を毎月配信しております。皆様の『woolflooring』へのご意見、ご感想をお待ちしております。

## 和歌山工場 復旧に向け

### 9月4日 台風12号により 和歌山工場水没

4日朝、現地から日高川増水の連絡を受け、和歌山工場の状況確認に向かいました。

工場は水没しており、4日朝の段階では川の中に工場が建っており、隣の4件の家は完全に水に流され、基礎しか残っていないという悲惨な状況でした。

壁面の形跡から一時は工場の2階付近まで浸水した模様です。

幸いにも人的な被害はありませんでしたが、工場内には大量の土砂と流木が入り込み、機械設備、パーツ、原料等(ジュート麻等20トン程度)、すべてが水に浸かり、土砂に埋まり、操業不能という甚大な被害状況でした。

和歌山工場は本社工場で生産しているカーペットの地組織(ジュート麻)の整径(経糸を巻く工程)を行なっています。当面の本社工場の操業には影響はありませんが、和歌山工場の操業停止が続くと本社工場の操業に影響を及ぼす状況となり、難局の中、呆然となっている余裕はなく、復旧へ向け前進しなければなりません。

### 社外ボランティア募集、復旧作業始まる

復旧へ向け、作業手順の打ち合わせ、検討を行いました。

工場内の土砂の運び出し、流木の撤去、機械、パーツの洗浄作業…、重機による作業は限られており、ほとんどの作業が人手を必要とする作業です。社員総出でも人手不足が予想され、仕入先様にボランティアでの復旧作業のご協力を募集させていただきました。多くの方がボランティアにご応募いただき、10月2日までに延べ287名もの方にご協力をいただいております。

復旧作業1日目、2日目、工場内の惨状に唖然となりながらも作業開始。電気も使えない、水も出ない、トイレも使用できないという過酷な状況の中、ひたすら土砂の掻き出し作業。暑さと、想像以上に大変な作業で皆さんぐったりとされながらも、休憩を取りながら作業を続けていただきました。

2日目の作業終了の頃には緑の床面が目立ち始め感動的でした。

9月後半からは女性の方、お子様にもご協力いただき、小さなパーツ(膨大な数)の磨き作業等にご協力いただき、男性の方には機械パーツ、ジュート麻の洗い作業、糸の処理等の力作業を継続していただきました。

※復旧作業の詳細はブログ『堀田カーペット奮闘記』でご覧いただけます。

### 稼働再開に向け

9月末には再稼働に向け見通しが立ち、10月末までには再稼働を開始すべく社員一丸となり進めております。

ボランティアとしてご協力いただいた皆様、その他様々な形でお力添えをいただきました皆様には本当に感謝致します。皆様のお力添えなくしては到底、現在の状態まで作業が進んでいません。

皆様の温かいお気持ちは私たちにとって最大の財産であり、それをバネに復旧に向け全力を尽くしてまいります。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

